



くずまき

クリーンエネルギーの取り組み

岩手県葛巻町





私たちは、 クリーンエネルギーで 暮らしています。

葛巻町は、町が持っている多面的機能を最大限に活かし、21世紀の課題である「食糧・環境・エネルギー」の問題に貢献するため、基幹産業である酪農と林業の振興を図るとともに、風力発電や太陽光発電、バイオマスエネルギーの活用を積極的に推進しています。

また、町民や事業者、行政が一体となり省エネルギーに取り組むことにより、「エネルギー自給率100%」のまちづくりを目指しています。

葛巻町 新エネルギー 宣言

エネルギー問題や地球温暖化、酸性雨などの地球環境問題は、地域を越え、国境を越えた問題であり、わたしたちの将来にも大きな影響を与えようとしております。

かけがえない地球のために、一人ひとりの足下からの取り組みが今求められています。

わたしたちは、先人からの贈り物である豊かな自然を守り育てるとともに、この恵まれた自然の中で、「天のめぐみ」である風力や太陽光、「地のめぐみ」である畜産ふん尿や水力、そして豊かな風土・文化を守り育てた「人のめぐみ」を大切にしながら、町民一体となってクリーンでリサイクル可能な新エネルギーの導入に積極的に取り組んでいくことを誓い、ここに「新エネルギー町・葛巻」を宣言します。

新エネルギー関連施策

計画等

年度	計画等
平成7年度	葛巻町自然環境保護条例施行
平成10年度	葛巻町新エネルギービジョン策定
平成12年度	葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画策定
平成15年度	葛巻町省エネルギービジョン策定
平成17年度	第2次葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画策定
平成19年度	葛巻町バイオマスタウン構想策定
平成21年度	葛巻町省エネルギービジョン(後期推進計画)策定
平成22年度	第3次葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画策定
平成23年度	葛巻町地域エネルギー利活用に関する報告書策定



導入設備

設備	規模	備考
風力発電	22,200kW	400kW×3基、1,750kW×12基
太陽光発電	252kW	
バイオマス熱利用	6,011MJ	
畜ふんバイオマスシステム	発電37kW 熱180MJ	
木質バイオマスガス化発電	発電120kW 熱963MJ	

地域エネルギー賦存量と利用可能量

エネルギー種別	賦存量	利用可能量	備考(電気使用量換算)
太陽光発電	300,490,200kWh	7,088,012kWh	1,648世帯分に相当
太陽熱利用	—	32,929,284kWh	7,658世帯分に相当
木質バイオマス電力利用	—	2,118,000kWh	493世帯分に相当
木質バイオマス熱利用	1,268×10 ⁹ MJ/年	30,496×10 ⁹ MJ/年	1,970世帯分に相当
畜ふんバイオマス電力利用	—	2,266,000kWh	527世帯分に相当
畜ふんバイオマス熱利用	92,966×10 ⁹ MJ/年	32,637×10 ⁹ MJ/年	2,108世帯分に相当
風力発電	92,473TJ	2,371,143kWh	868,605世帯分に相当
中小水力発電	64,172,093kWh	5,650,000kWh	1,314世帯分に相当
地中熱エネルギー	438,346GJ	1,988.77GJ	128世帯分に相当

クリーンエネルギーの取組経過

年度	主な取り組み
1981年度 (昭和56年度)	◎葛巻林業(株)にて木質ペレットの生産を開始
1988年度 (昭和63年度)	◎モデル木造施設「森の館ウッディ」にペレットボイラーを導入
1995年度 (平成6年度)	◎葛巻町自然環境保護条例を制定 ◎「自然とともに豊かに生きる町」を宣言
1999年度 (平成11年度)	◎葛巻町新エネルギービジョンを策定 ◎「新エネルギーの町・くずまき」を宣言 ◎エコ・ワールドくずまき風力発電所が稼働
2000年度 (平成12年度)	◎葛巻町バイオマスエネルギー導入可能性調査を実施 ◎葛巻中学校に太陽光発電システムを導入 ◎「第7回全国風サミット」を開催
2001年度 (平成13年度)	◎環境エネルギー政策課を新設 ◎葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画を策定 ◎葛巻小学校が「省エネルギー教育推進モデル校」に認定(2003年度まで)
2003年度 (平成15年度)	◎葛巻町省エネルギービジョンを策定 ◎新エネルギー等導入事業費補助金制度を開始 ◎くずまき高原牧場に「畜ふんバイオマスシステム」を導入 ◎グリーンパワーくずまき風力発電所が稼働 ◎介護老人保健施設「アットホームくずまき」にペレットボイラー及び太陽光発電システムを導入 ◎「自治体環境グランプリ」を受賞
2004年度 (平成16年度)	◎「循環・共生・参加まちづくり表彰」を受賞
2005年度 (平成17年度)	◎葛巻町地域集中型木質バイオマスシステム事業化可能性調査を実施 ◎くずまき高原牧場に「木質バイオマスガス化発電設備」を導入 ◎「第10回新エネ大賞 新エネルギー庁長官賞」を受賞
2006年度 (平成18年度)	◎農林課と環境エネルギー課が統合し、農林環境エネルギー課になる ◎「バイオマス利活用優良表彰 農林水産大臣賞」を受賞
2007年度 (平成19年度)	◎葛巻町バイオマスタウン構想を策定 ◎くずまき型モデルエコ住宅「ゼロエネルギー住宅」を建設
2008年度 (平成20年度)	◎平庭高原体験学習館「森のこだま館」にペレットボイラーを導入 ◎「新エネ百選」に選定
2009年度 (平成21年度)	◎葛巻町省エネルギービジョン(後期推進計画)を策定 ◎小規模多機能型居宅介護支援施設「マイホームくずまき」にペレットボイラーを導入
2010年度 (平成22年度)	◎葛巻町地域エネルギー利活用調査検討を実施 ◎くずまき高原牧場に太陽光発電システムを導入並びにくずまき交流館プラトーの照明器具のLED化
2011年度 (平成23年度)	◎コミュニティーセンター等(25ヶ所)に太陽光発電システム並びに蓄電池を導入 ◎誠心会星野ショートステイ事業所「すみれ荘」に太陽光発電システムを導入

風力発電

高原に吹く風をエネルギーに変える15基の風車

総出力 **22,200kW**

一般家庭が使う消費電力の16,000軒分!

『酪農』の土台

葛巻町では現在、2箇所の牧場で、合計15基の風力発電機が稼働しています。

両地点ともに1,000m超の山間高冷地で稼働しており、これは、国内はもとより世界でも珍しいことです。

この1,000m超の山間高冷地での風力発電の施工・運転を可能にしたのが、昭和50年代に行われた大規模牧場開発事業「北上山系開発事業」です。

酪農の基盤強化を目的としたこの事業により、町内の1,000m超の3地点約1,100haが牧草地に生まれ変わり、それらを結ぶ総延長75kmの大規模林道、更に、牧場を監視する監視舎に送電線が引かれました。

山岳部での風力発電を可能にするためのインフラが牧場開発により既に整備されていたのです。

これらは、現在も牧場としての本来の機能を維持しながら、エネルギーの生産基地にもなっています。

すなわち、葛巻町の風力発電は、明治25年にホルスタイン種を導入して以来、120年の歴史を刻む葛巻の『酪農』という先人が築き上げた土台の上に成り立っていると言えます。

自然・環境との共生

また、グリーンパワーくずまき風力発電所の建設に際しては、希少動植物に配慮し、当初28基だった計画を現在の12基変更し、更には通常の施工より風車間の間隔を広く空け、鳥類等に影響のない自然との共生を目指したモデル的なウィンドファームになっています。

現在、これらの風力発電所は、町のシンボルとなり、町民への新エネルギーの普及啓発や観光客誘致に大きな貢献を果たし、町の誇りとなっています。



エコ・ワールドくずまき風力発電所

- 出力/400kW×3基
- 年間予想発電電力量/約200万kWh/年
- 設置場所/袖山高原
- 稼働日/1999年6月
- 負荷/全量売電



グリーンパワーくずまき風力発電所

- 出力/1750kW×12基
- 年間予想発電電力量/約5400万kWh/年
- 設置場所/上外川高原
- 稼働日/2003年12月
- 負荷/全量売電

太陽光発電

太陽のエネルギーを暮らしに活かす

総出力 **475kW**

環境教育

葛巻中学校に設置されている太陽光発電設備は、校舎の新築に合わせて建設され、現在、校舎で使用する電力の20%程を賅っています。

また、小中学校に通う児童・生徒や地域住民に対して、地球環境保全と新エネルギーの普及啓発にも役立っています。

省エネルギー

くずまき高原牧場に設置されている太陽光発電設備は、くずまき高原牧場内にある「くずまき交流館プラトール」の電力の一部として利用されています。

また、「くずまき交流館プラトール」では、太陽光発電設備の導入と一緒に、照明器具も消費電力の少ないLED照明に交換されており、施設内の省エネルギー化が図られています。

非常用電源

葛巻町では、平成22年末の雪害や東日本大震災における長期的な停電を教訓に、町内の避難所であるコミュニティーセンター等（25箇所）に、非常用電源としての太陽光発電設備を導入しました。

また、悪天候時や夜間でも電気を使用できるよう、蓄電池も整備され、再生可能エネルギーによる町民の安全・安心の確保につなげています。



葛巻中学校

- 事業主体/葛巻町
- 出力/50kW
- 予想発電電力量/約5万kWh
- 設置年/2000年
- 負荷/自家発電(余剰売電)

介護老人保健施設 アットホームくずまき

- 事業主体/医療法人敬人会
- 出力/20kW
- 予想発電電力量/約2万kWh
- 設置年/2003年
- 負荷/自家発電(余剰売電なし)

くずまき高原牧場

- 事業主体/葛巻町
- 出力/20kW
- 予想発電電力量/約2万kWh
- 設置年/2011年
- 負荷/自家発電(余剰売電なし)
- 備考/施設内照明器具をLED化

星野ショートステイ事業所すみれ荘

- 事業主体/社会福祉法人誠心会
- 出力/10kW
- 予想発電電力量/約1万kWh
- 設置年/2012年
- 負荷/自家発電(余剰売電なし)

コミュニティーセンター(全25箇所)

- 事業主体/葛巻町
- 出力/182kW
- 予想発電電力量/約13万kWh
- 設置年/2012年
- 負荷/自家発電(余剰売電)
- 備考/蓄電池導入(114kWh)

一般家庭(2012年現在)

- 設置世帯/44世帯
- 出力/193kW

バイオガス

「畜ふんバイオガスプラント」

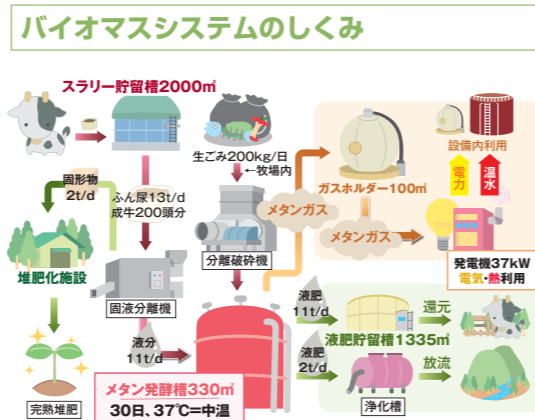
乳牛10,000頭を誇る「東北一の酪農郷」である葛巻町では、日量400t以上もの家畜排泄物が発生しています。

この家畜排泄物の適正な管理と畜産活動から発生する温室効果ガス「メタン」の抑制を目的として、くずまき高原牧場内に「畜ふんバイオマスシステム」を導入しています。

このシステムにより、エネルギー（電気・熱）と良質な肥料を生産し、理想的な循環サイクルが完成しています。

- 事業名／生産振興総合対策事業
（耕畜連携・資源循環総合対策事業）
- 稼働年／2003年
- 出力／電気 37kW、熱 43,000kcal
- システム仕様

処理原料	乳牛糞尿	13t/日 (200頭相当分)
	生ゴミ	1t/日
メタンガス発生量		300Nm ³ /日
メタン発酵槽		330m ³
ガスホルダー		100m ³
消化液貯留槽		1335m ³ (150日分)
発酵温度		37℃ (中温発酵)
エネルギー利用設備		デュアル燃料エンジン式
脱硫方式		メタン発酵槽内への微量空気注入による生物酸化脱硫方式
浄化方式		膜分離活性汚泥法



酪農郷としての責任～4つのポイント～

■消化液＝液肥効果

発酵している間、スラリーの固形分は微生物によって分解され、炭酸分のほとんどの部分はバイオガスに変換されます。一方、肥料分に関連する窒素、リン、カリウムの大部分は無機物として分離され、消化液中に溶け込んでいます。

■散布地とのバランス

発酵槽から排出された消化液は、基本的に液肥として利用しますが、全量を施用することができない場合は、消化液を生物処理により浄化し、河川に放流することも可能です。

■電気・熱の利用

発生したバイオガスは、コジェネ設備を利用することで電気と温水を同時に取り出すことができます。取り出した電気は、施設内のエネルギーとして、熱は発酵槽の温度保持に利用されています。

■酪農の新たな魅力

大気に環境汚染ガスを放出することなく有機物を分解するため、悪臭の発生が少なく、消化液散布後のわずかな臭いも散布後数時間で消えます。このようなことから、酪農家の方々からも酪農の新たな魅力として期待されています。

「木質バイオマスガス化発電設備」

町の面積434.99km²の86%が森林である葛巻町では、年間8,500m³もの間伐材が発生しています。

しかし、そのうち利用されているのは2割強しかなく、8割の間伐材は山林に放置されている状況です。

この間伐材の有効利用を目的として、ガス化発電による熱電併給システムの実証試験が葛巻町をフィールドに行われました。

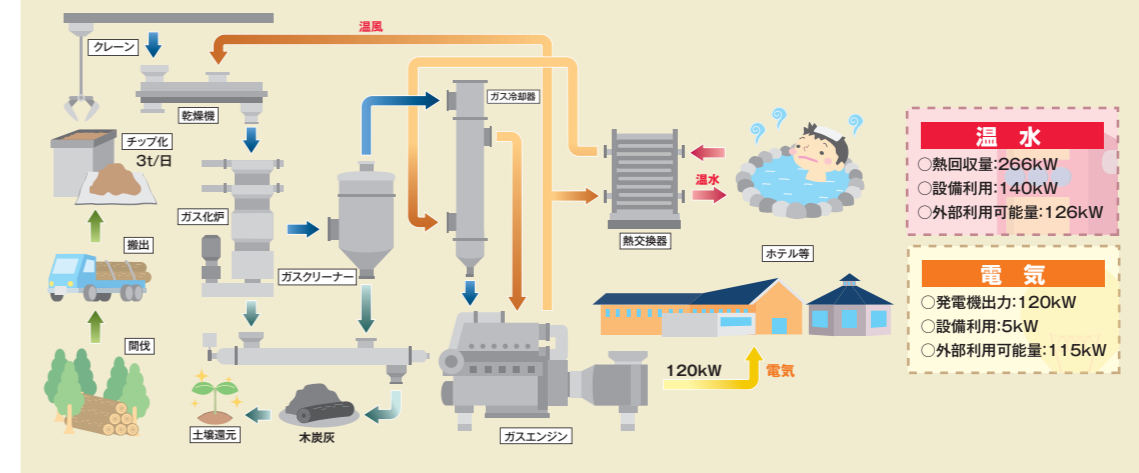
このシステムは間伐材を原料とし、熱と電気を有効利用できるため、地球温暖化防止への貢献はもちろんのこと、森林の適正な管理を行うことで、低迷が叫ばれて久しい林業の新しいビジネスモデルの構築が可能であると考えられています。

- 事業名／バイオマス等未活用エネルギー実証試験事業
- テーマ／森林の間伐施業に伴う木質バイオマスのガス化熱電併給システム
- 事業主体／月島機械(株)
(独)新エネルギー産業技術総合開発機構
- 実証試験／2005年～2010年
- 出力／電気 120kW、熱回収 266kW



ガス化発電のしくみ

くずまき高原牧場内に設置されている「木質バイオマスガス化発電設備」は、山林に放置されている間伐材を有効活用し、電気と熱利用を行うシステムです。間伐材を有効活用することで、林業の活性化と森林の保全を促すことが可能です。



木質バイオマス

■民間企業によるバークペレット製造

- 製造会社／葛巻林業(株)
- 製造開始年／1981年
- 製造量／約1,600t/年
- その他／チップ製造の際に不要となるバークを利用



■ペレットストーブ・ボイラーの導入

- いわて型ペレットストーブリース事業
 - 事業主体／葛巻町森林組合
 - リース台数／7台(公共施設)
- ふるさとづくり基金(新エネルギー導入に関する事業)
 - 導入設備／ペレットストーブ 6台(小中学校へ)
 - 活用額／160万円
- ペレットボイラー
 - ・モデル木造施設 森の館ウッディ／25万kcal
 - ・介護老人保健施設 アットホームくずまき／100万kcal(50万kcal×2基)
 - ・エコ・パーク平庭高原 森のこだま館／8.6万kcal(4.3kcal×2基)
 - ・小規模多機能型居宅介護支援施設 マイホームくずまき／10万kcal



■森林保全

- くずまき高原環境の森づくり事業 企業の森
 - 事業概要／民間資本による森林整備
 - 参加企業／(株)藤島建設【5.91ha】
 - 小岩金網(株)【266.89ha】(株)シェルター【1.90ha】
 - (株)永和【5.56ha】薬樹(株)【9.57ha】
- ふるさとづくり基金(森林の保全と資源循環に関する事業)
 - 事業内容／カラマツの再造林 46ha(11万本)
 - 活用額／480万円
- 各種林業体験の実施
 - ・葛巻町植樹祭
 - ・薪・巻・牧・トリプル薪フェスター
 - ・キツザイニア など



その他

■くずまき型モデルエコ住宅「ゼロエネルギー住宅」

- 事業名／異分野新連系事業
- 参加企業／(株)アトム環境工学、(株)藤島建設 葛巻町森林組合
- 設置年／2008年
- 住宅概要／木造2階建て
 - 延べ床面積 94.39㎡(28.6坪)
- 設備概要／①地中熱ヒートポンプ(9.5kW)
 - ②太陽光発電(3.36kW)
 - ③太陽熱温水器(2.87㎡)



■エコ・エネ総合対策事業補助金宅

	区分	補助内容	備考
新エネルギー等導入事業	太陽光発電設備	①住宅等に設置する場合 ・3万円/kW(上限:15万円) ②自治公民館等に設置する場合 ・設置費用の1/4以内 ③10kW以上の太陽電池を設置し、 国・県等の補助金の交付を受ける場合 ・設置費用の1/10以内	
	太陽熱利用設備	①自然循環型太陽熱利用温水器 3万円 ②強制循環型ソーラーシステム 5万円	
	木質バイオマス熱利用設備	ストーブの場合 ・設置費用の1/2以内(上限:10万円) ②ボイラーの場合 ・設置費用の1/2以内(上限:10万円) ・国・県等の補助金の交付を受ける場合は、補助金対象事業費の1/10以内	ペレットや薪等を燃料とするストーブやボイラー
	小水力発電設備	・設置費用の1/10以内(上限:30万円)	
	その他の新エネルギー	・設置費用の1/2以内(上限:10万円) ・国・県等の補助金の交付を受ける場合は、補助金対象事業費の1/10以内	風力発電、地中熱HPなど
エコ活動推進事業	生ごみ処理機の購入	①家庭用の場合 ・購入価格の1/2以内(上限:3万円) ②事業所用の場合 ・購入価格の1/2以内(上限:10万円)	購入経費1万円以上
	資源回収事業の実施	・回収資源売却額の1/5以内の額 ・年間活動費 3,000円	住民団体又は学校が対象
	産業廃棄物等の発生抑制及びリサイクル利用設備の設置	・設置費用の1/10以内(上限:300万円)	
	クリーンエネルギー自動車の購入	・車両本体価格の1/20以内(上限:5万円)	電気自動車、ハイブリッド自動車など
	高効率エネルギー設備の設置	・設置費用の1/10以内(上限:3万円)	省エネ給湯器など
	LED照明の設置	・設置費用の1/10以内(上限:3万円)	設置費用2万円以上

エネルギー自給のまちづくり

くずまきの自然・環境は未来の子どもたちへの贈りもの

これまで葛巻町では、様々な再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し、その結果、食糧とエネルギー（電力）の生産が熱量換算で町内の需要を上回るという、全国でも例を見ない「食糧・エネルギー自給の町」となっています。しかし、これまで町が導入してきた施設は、電力会社への売電を目的とした施設や、生産したエネルギーもその施設のみで消費するものがほとんどであることから、町民からは「クリーンエネルギーの恩恵を日常生活においても身近に実感したい」という要望が寄せられています。

このようなことから、今後町では、「くずまきの自然・環境は未来の子どもたちの贈りもの」という考え方にに基づき、先人から引き継いだ、この葛巻町の豊かな自然環境を未来に託すとともに、一次産業の振興や町民の経済負担の軽減等の支援につながる、新たな新エネルギーの政策が必要となっています。」



今後のエネルギー政策の考え方

■エネルギーの地産地消による副収入と健康機会

エネルギー生産するための原料の収集・運搬・加工、また、施設のメンテナンス等に町民が携わることにより、町内での雇用創出につなげます。

- ◎木質バイオマスの活用による雇用の創出
- ◎新エネルギー設備の工事やメンテナンス

■エネルギーの自立と災害・外乱に強い町づくり

系統だけに頼らない、自立したエネルギー供給施設を集落単位に設置することにより、「安全・安心なまちづくり」を目指します。

- ◎系統連系からの自立
- ◎バックアップ・蓄電池の整備

■設備転換と将来の費用削減

エネルギー施設の転換には、未だ高価な施設を導入する必要がありますが、費用回収が終了すれば、安価にエネルギーを得ることができます。

- ◎小規模分散化による熱電併給
- ◎個人住宅の設備転換

■都市と農村の機能分担・連携

21世紀の課題である「食糧・環境・エネルギー」の生産は、私たち農村がその役割を担っています。これらを都市の人たちにも理解・協力をいただき、連携して取り組むことが重要です。

- ◎都市：経済
- ◎農村：食糧・環境・エネルギー

■葛巻町新エネルギー施設等一覧

施設名	稼働年	事業費(千円)	補助額(千円)	補助	設備規模	予想発電量 kWh/年	一般家庭件/年	CO2削減量 t-CO2/年	実施主体(管理主体)	負荷	備考
風力発電											
エコワールドくずまき風力発電所	H11	340,000	170,000	NEDO 1/2	1,200kW (400kW×3基)	2,000,000	588	1,118.0	エコワールドくずまき風力発電(株)	全量売電	売電収入: 約2000万円/年 管理経費: 約900万円
グリーンパワーくずまき風力発電所	H15	4,700,000	1,600,000	NEDO 1/3 東北電力基金	21,000kW (1750kW×12基)	54,000,000	15,867	30,186.0	(株)グリーンパワーくずまき	全量売電	売電収入: 約4.3億円/年 管理経費: 約1~2億円/年
太陽光発電											
葛巻中学校太陽光発電	H12	46,000	23,000	NEDO 1/2	50kW (126W×420枚)	50,000	15	28.0	葛巻町	自家発電 余剰分を売電	
アットホームくずまき	H15	28,000	16,800	NEDO 1/2 町 1/10	20kW	20,000	6	11.2	医療法人敬人会	自家発電 売電なし	
くずまき高原牧場	H23	24,150	24,150	県基金 10/10	20kW (154W×140枚)	17,000	5	9.5	葛巻町	自家発電 売電なし	事業費には、LED照明器具交換費用を含む
星野ショートステイ事業所すみれ荘	H23				10kW	10,000	3	5.6	社会福祉法人 誠心会	自家発電 売電なし	
コミュニティーセンター等(25箇所)	H23	166,681	64,965	環境省 1/2	総出力:187kW 蓄電池:84kWh	130,000	38	72.7	葛巻町	自家発電 余剰分を売電	売電収入は各自治会に還元
バイオマス											
くずまき高原牧場 畜ふんバイオマスシステム	H15	220,000	130,000	農水省50% 岩手県10%	電気:37kW 熱:43,000kcal	50,000	15	28.0	葛巻町 [(社)葛巻町畜産開発公社]	自家発電 売電なし	管理経費: 約200万円/年
木質バイオマス ガス化発電設備	H17	230,000	115,000	NEDO 1/2 月島 1/2	電気:120kW 熱:23万kcal	540,000	159	301.9	月島機械(株) [葛巻町]	牧場内の各施設 売電なし	
森の館ウッティペレットボイラー	S63	3,500		林構事業	25万kcal			37.7	葛巻町 [葛巻高原食品加工(株)]	館内暖房	ペレット使用量: 約30t/年
アットホームくずまきペレットボイラー	H15	40,000	24,000	NEDO 1/2 町 1/10	50万kcal×2基			313.8	医療法人敬人会	館内暖房・給湯	ペレット使用量: 約250t/年
森のこだま館ペレットボイラー	H20	18,000	9,000	林野庁 1/2	50kW×2基 (約86,000kcal)			47.7	岩手県 [葛巻高原食品加工(株)]	館内暖房	ペレット使用量: 約38t/年
マイホームくずまきペレットボイラー	H21	24,000	14,400	NEDO 1/2 町 1/10	10万kcal			31.4	医療法人敬人会	館内暖房・給湯	ペレット使用量: 約25t/年
その他											
葛巻林業(株)	S56				製造量 約1,600t/年				葛巻林業(株)	パークペレット製造 35円/kg	
くずまき高原牧場 ゼロエネルギー住宅	H19	22,000	9,000	経産省 1/2 町 50万円	地中熱HP: 10.5kW 太陽光 3.36kW 太陽熱 2.87㎡				アトム建築工学研究所 葛巻町森林組合など	自家発電 住宅内冷暖房・給湯	
森と風のがっこう 太陽光/小水力独立電源システム	H18	996	996	岩手県企業局	太陽光:350W 水 力:12W				NPO法人 岩手子ども環境研究所	自家発電	
街なか駐車場 太陽光街灯	H19	1,000	1,000	岩手県企業局	太陽光100W (50W×2枚)				葛巻町商工会		
小田農村公園 太陽光誘導灯	H20	966	966	岩手県企業局	太陽光16.24W (2.03×8基)				小田部落会		
森林								101956			
合計		5,865,293	2,203,277			56,817,000	16,695	134,147.3			

※電力のCO2削減量は一般電気事業者の排出係数0.555kg-CO2/kWhで計算。
 ※一般家庭の年間消費電力量は電気事業連合会調べによる。2004年度301.6kWh/月×12ヶ月=3,619.2kWh/年
 ※ペレットのCO2削減量は灯油の排出係数2.51kg-CO2/リットルとし、ペレットの熱量を灯油の1/2で計算した場合による。
 ※森林のCO2削減量は岩手林業技術センター調べによる葛巻町の炭素吸収量27,781t-C/年をCO2に換算したもの。

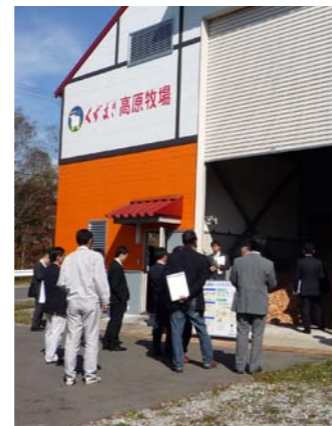
クリーンエネルギー視察

視察・見学可能施設

NO	施設名	場所	所要時間	備考
1	葛巻町の概要説明	要相談	約60分	
2	エコ・ワールドくずまき風力発電所	袖山高原	約15分	冬期間は見学不可
3	グリーンパワーくずまき風力発電所	上外川高原	約15分	冬期間は見学不可
4	畜ふんバイオマスシステム	くずまき高原牧場	約15分	
5	木質バイオマスガス化発電設備	くずまき高原牧場	約15分	
6	ゼロエネルギー住宅	くずまき高原牧場	約15分	
7	葛巻中学校太陽光発電	葛巻中学校	約15分	
8	地区センター太陽光発電	要相談	約15分	
9	ペレットボイラー・ストーブ	森のこだま館	約15分	

視察モデルコース

時間	内容	場所
10:00~11:00	葛巻町の概要説明	くずまき高原牧場
11:00~12:00	くずまき高原牧場内施設見学	くずまき高原牧場
12:00~13:00	昼食	
13:00~13:40	移動	
13:40~13:50	グリーンパワーくずまき風力発電所	上外川高原
13:50~14:30	移動	
14:30~14:40	葛巻中学校太陽光発電	葛巻中学校
14:40~15:00	移動	
15:00~15:30	森のこだま館ペレットボイラー	森のこだま館



視察・見学の際の留意事項

- 視察・見学希望日の2週間前までにお申し込み下さい。
- 申込み状況等により、次の対応をとらせていただくことがありますので、予めご了承ください。
 - ア.施設見学時間の指定
 - イ.他団体との合同による対応
 - ウ.都合により施設見学をお断りする場合
- 風力発電施設は、冬期間(11/1~4/30)積雪のため道路が通行止めになりますので見学はできません。
- 木質バイオマスガス化発電は、実証試験終了に伴い現在運休中ですのでご了承下さい。
- 視察・見学の際の移動手段は、各自手配願います。(公用車への同乗はできません。)

料金

視察に係る料金は、無料です。
ただし、視察の際の昼食や宿泊については、町内の施設をご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

申込み・問い合わせ先

葛巻町役場 農林環境エネルギー課 環境エネルギー係
〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町16-1-1
TEL:0195-66-2111(内線144) FAX:0195-66-4329
E-mail:nourin@town.kuzumaki.iwate.jp

食事・宿泊

くずまき交流館プラトール (宿泊・レストラン)

レストランでは、牧場で生産される新鮮な牛乳をはじめ、牛肉、フランス鴨肉、ラム肉などが楽しめます。
客室は、和室・洋室合わせて7室27名がご利用いただけるほか、コテージ(シュ克蘭ハウス)もご利用頂けます。

【問い合わせ先】
くずまき交流館プラトール 葛巻町葛巻40-57-176
TEL 0195-66-0555



宿泊料(客室)

区分	人数	宿泊料
和室	1名	4,100円
	2名	3,600円
	3名以上	3,100円
洋室 (2段ベッドルーム)	1名	3,600円
	2名	3,100円
	3名以上	2,600円
洋室 (ツインルーム)	1名	7,100円
	2名	4,100円

宿泊料(シュ克蘭ハウス)

人数	一棟料金	一名様あたり料金
1名	11,500円	11,500円
2名	13,000円	6,500円
3名	14,500円	4,833円
4名	16,000円	4,000円
5名	17,500円	3,500円
6名	19,000円	3,167円

1棟基本料金 10,000円
基本料金に、ご利用お一人様(大人)1,500円加算

食料料金

区分	食数	料金
Aコース	2食	6,300円
Bコース	2食	5,250円
Cコース	2食	4,200円

森のこだま館(レストラン)

地産地消のレストラン。自然食材、その時期の旬な食材を活かし、地元、県内産にこだわった安全・安心なメニューをご用意しております。

【問い合わせ先】
森のこだま館 葛巻町江刈1-95-55
TEL 0195-66-2320



ふれあい宿舎 グリーンテージ(宿泊・レストラン)

酪農をイメージした北欧風の宿泊施設。おしゃれな外観であなたをお出迎え。宿舎内には、各種イベントに利用できるふれあいホール、会議室、ラウンジ、レストラン、特産品コーナーなどの施設も充実。和室10室、洋室14室の客室と「夢源の湯」でおくつろぎください。

【問い合わせ先】ふれあい宿舎グリーンテージ 葛巻町葛巻5-170-2 TEL 0195-66-3000

部屋タイプ	利用人数	ビジネスプラン (1泊2食付)	サービスプラン (1泊2食付)
		大人	大人(小学生)
洋室(シングル)洗面トイレ付 (ソファベッド付)	1名	6,900円	8,500円(5,750円)
	2名	6,200円	7,700円(5,120円)
洋室(ツイン) バストイレ付 (エキストラベッド付)	1名	8,000円	9,500円(6,870円)
	2名	7,200円	8,700円(6,170円)
	3名以上	6,700円	8,200円(5,470円)
和室 洗面トイレ付 (10畳・定員5名)	1名	7,500円	8,900円(6,140円)
	2名	6,700円	8,200円(5,470円)
	3名以上	6,200円	7,700円(5,120円)



葛巻町 新エネルギー マップ



葛巻町役場 農林環境エネルギー課 〒028-5495岩手県岩手郡葛巻町葛巻16-1-1
Tel.0195-66-2111 Fax.0195-66-4329
www.town.kuzumaki.iwate.jp ●Eメール nourin@office.town.kuzumaki.iwate.jp

